

## 取組の概要

取組の概要 : いら産地の維持・発展  
 計画作成主体 : 四万十町地域農業再生協議会  
 対象品目 : いら (作付面積:21.4ha、  
 施設:19.9ha、露地:1.5ha)  
 主な取組主体 : 農業者 (5戸)  
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加 (総販売額)  
 助成金の活用 : 生産支援事業 (出荷調製機械のリース  
 状況 導入)

## ポイント

出荷調制作業の機械化による生産性の向上、環境制御技術等の導入による冬期の出荷量増加や調制作業の効率化等に加え、新規就農者の育成や既存農家の規模拡大を図ることで、販売額10%以上の増加を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 20.1ha  
 (施設19.1ha、露地1.0ha)  
 販売額 : 5.5億円

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 21.4ha  
 (施設19.9ha、露地1.5ha)  
 販売額 : 6.4億円



## 推進体制

地域の関係者 (県須崎農業振興センター・高南農業改良普及所、四万十町、四万十農業協同組合等) が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 環境制御技術 (炭酸ガス施用、電照栽培等)、点滴チューブ灌水などの新たな栽培技術の導入による品質・収量の向上に向けた取組。
- 新規就農者の確保・育成、既存農家のハウス整備等による規模拡大。

〈県・町単独事業〉

- 環境制御技術普及促進事業により新たな栽培技術の導入を支援。
- 高知県園芸用ハウス整備事業によりハウス整備を支援。

## 事業効果

- 単位面積当たりの販売額が特に高いいら (主要9品目中3位) の生産量を拡大。
- 出荷調制作業の機械化による労働時間の削減により、安定した出荷量を確保。
- 県・町補助事業を活用したハウス整備等による規模拡大により、販売額・農家所得の向上を実現。

～いらの販売額～

